

第2期北見市障がい者計画（素案）に対する意見募集の結果（案）

当日配布資料 1

●募集期間：平成28年12月20日（火）～平成29年1月18日（水）

●募集結果：1名から2件のご意見をいただきました。

●回答方法：寄せられたご意見に対し、北見市障がい者計画策定委員会としての考え方、及び北見市の考え方も示し、ホームページで公表することとします。

No.	意見内容（要約）	策定委員会の回答（案）	北見市の考え方
1	<p>素案の68ページ、主要施策の「障がいに対する理解の促進」の取組の内容の3～4行目「意思を示すカード（ヘルプカード・ヘルプマーク）の推進を検討します。」は、平成32年度までの地域福祉計画の重点事業になっており、フォーラムにおいて難病連の方から大事と指摘されています。「理解の促進」だけでなく安全や命に係わるものと考えられます。10年間の計画で「推進を検討します」では、実施しないことと同じになるため「<u>推進を行います。</u>」に修正すべきと思います。</p>	<p>ヘルプマーク・ヘルプカードにつきましては、障がいのある人にとっての意思を示すもので、多くの人がその活用方法に関心を持って頂くことが大事と考えられます。</p> <p>各市町村がそれぞれ特徴のあるものを作成するよりも、統一様式で作成されたものを利用することにより、広域的な使用促進となり、多くの皆さんに関心を持って頂けることにつながると思っています。</p> <p>障がいのある人にとって、緊急時などに周りの人へ意思を示す手段のひとつとして有効ものと考えます。</p> <p>ご指摘いただきました障がい者に対する理解の促進における施策につきましては、「<u>推進を進めて参ります。</u>」が望ましいと考えております。</p>	<p>現在北海道では全道で統一したヘルプマークやヘルプカードの標準様式の作成について事務を進めております。</p> <p>北見市におきましてもヘルプカードの北海道の標準様式が決まり次第、統一した様式に沿って使用する人が安全に活用出来るように事務を進めます。</p> <p>【社会福祉課】</p>
2	<p>素案の76ページ、主要施策の「緊急時・災害時の情報伝達の強化」の取組の内容の1行目「継続して検討し可能なことから実施します。」とありますが、命に係わることは必要なことは実施するの当然ではないでしょうか。</p>	<p>緊急時・災害発生時の情報伝達については、町内会（自治会）等の情報伝達網を活用しながら、地域住民が協働で障がいのある人を安全な場所へ避難誘導していただくことが重要なことと考えております。</p> <p>近年の災害などでは、道路や通信網の寸断により孤立することが多くなっており、ご指摘いただきました緊急時・災害時の情報伝達の強化における施策につきましては、「継続して可能なことより実施して参ります。」が望ましいと考えております。</p>	<p>市民への情報伝達につきましては、緊急時・災害時に活用できる方法をすべて活用して参ります。</p> <p>また、今後において新たな伝達方法などが出来た際には、情報伝達体制に組み入れて強化を図ります。</p> <p>【社会福祉課・防災危機管理課】</p>